

中野稲門会メールマガジン 2005-11号(11月20日配信)

訂正済み:4ページ目掲載の新年会は1月21日に訂正

なかとう句会 < 秋手帖 >

秋晴れの 日蔭のワイン 稲門祭 【シグ子】
木枯しや プラタナスの枯葉 プロローグ

舞う枯れ葉 手をさしのべて 目をつむる【狸の意味深翁】
トレモロの 散る音きこえ 晩秋や
翡翠の湖 緋色のもみじ 秋手帖
露天の湯 澄む秋に肌 透きとおる
人肌も 想いそれぞれ 爛の酒
湯豆腐の 鍋におどりて 冬じたく

夢魂(むたま)川柳(9)【家元 ひがし】

脱皮して蛹は蝶に蛇は蛇
紫陽花を音で読ませて口解き酒
乳呑み児の泣き声囀む笑い声
子は宝孫は宝石○○○○○
○に適切な文字を心付けして返句下さい。例句「爺々胆石」
秀句にはこちらからの心付けをお送りします。
座席からやることなくて臍占い
除夜の鐘煩悩の数だと止まらない
隅照に逃げる私は慈悲の中
猿山の猿が茶髪を睨みつけ
逆光に何も見えず母の愛
他人の目押して札束倍に見せ
逝きなされ花も酒も持って逝く

< 家元 東柳さんからのお知らせ >

「夢魂(むたま)川柳・百句繚乱集 第一巻」を私のスケッチ付きで創りました。ご希望の方は是非御連絡下さい。ナント 1 句 2 円です。(送料込で一部 1,000 円)

連絡先掲載サイト <http://www.higaship.com>

コンサート特別御招待のお知らせ

12月17日(土)サントリーホール(小)PM6:30より

世界的テノール工藤健詞先生を中心としたオペラのアリアの夕辺があります。出演者はほとんど音大卒の方々に、私も2曲終りの方で歌います。御希望の方々先着30名様に御招待いたします。メール等の御申込を是非お待ちしております。皆様の約22ユーロ分の素敵な一夜になりますように。

海外旅行の変わった話(45)< 西ドイツのボンへ行く >【市川孝二】

かなり前のことです。厚生年金基金連合会が欧州の年金関係の

調査に参加した時の話です。私は海外勤務の体験はありません。受験英語だけなので、NHKの「ラジオ英会話」を頼りに独学で勉強していました。私が休むとラジオの先生を聞くこと出来ません。パイロットなど外国に行く為に、ほんの少しだけ頑張りました。この時、4つの班編成となり、1から3班までは「おえらいさん」が班長でした。少し英会話が出来たからとの理由で、若造の私が4班の班長に指名されました。

私は、花の1・2班(東京組)、浪速の3班、「どうでも4班」(その他の地域)と自嘲していました。ドイツが未だ分裂国家であった時の話です。ケルン空港そばの「ホリデー・イン」に泊まりました。御存知のようにこのホテルは都市の中心地よりも、郊外にある場合が多いのです。週末で相手の会社もお休みだし、日曜日に「ボンにあるベートーベンの生家」に行くことになりました。パイロットに行くので西ドイツの鉄道の利用方法は良く知っています。私は班長に指名された理由も知っているため、年上の人にも親切に接していました。フリーの時間で少し和気藹々とボンの町を楽しみました。

列車の時刻表の見方も馴れたもので楽しい列車の旅でした。さて、その帰りに、こんな提案を同行の10人の仲間に諮りました。行きはドイツの国鉄だった。帰路は同じ国鉄よりもケルン空港行きのリムジンバスにしたら。「ボン駅に行くより近いし、ケルン駅からホテルに帰るタクシーもいらぬから」と。全員バスに乗り込みバスから風景見て帰りました。困ったことが発生。バスはそのままケルン空港のビルに入っていました。国内線・国際線のチェックインには便利です。が、空港の隣のホテルに行けません。慌てました。その顔つき見て、仲間は心配顔です。係員に聞いて地上階のボタンを押してどうにか外に出ました。後は歩いて近くのホテルに行くだけです。少し変わった冒険でした。

田舎暮らし(34)< 環境破壊 >【中野信吾】

夏草が生い茂り荒れ放題になっている沢筋の棚田周辺は、秋の深まりとともに地表を覆っていた草が枯れ、かつての地形が分かるようになってきた。以前はここにも黄金に実った稲穂が周囲の山の色づきとともに秋の彩を添えていた。地元の人たちの生活環境が変わり、里山の手入れも行われなくなり、沢筋の奥まで田んぼを作ろうという人はいなくなってしまった。

以前は田んぼの土手やその周辺などは管理が行き届いていた。だから沢奥からでも集落が見下ろせて気持ちの良い眺めだった。それが現在ではカヤや雑草が生い茂り、野バラやネコヤナギの藪がそこそこ生い茂り、麓が見えなくなってしまった。地表上を覆っている草木の下からは、今までになかった光景が出現した。里山の手入れや耕作をあきらめて、山奥まで人が頻繁に入らなくなると、いつの間にか捨てられていた不法の残骸が出現する。山や谷の窪

地に外界から見えない意外な場所がゴミ捨て場に変身している。軽自動車、タイヤを始め、農耕機具、プラスチックの看板、ゲーム機、コイン販売機、冷蔵庫、テレビなどの家電製品、空缶、空き瓶、鍋釜などの台所用品、衣類、布団など数え切れない。

投棄場所が共通するのは、交通量が少ない人目につかないような先述の窪地や谷筋の崖が多い。かつて地区の世話役をしていた時の話。一族が持っている共有の山を見回った時、大量の不法投棄を発見した。場所は、車が一台通れる狭い山道である。この道は、山裾を迂回せず直接小高い丘を越えれば隣村まで行ける地元ならではの抜け道である。だからこの道を知っていて利用するのは、地元の人ぐらいた。この道が丘の頂上より少し下がったところに、昔この山の木を伐採したときに幅広の道をつけて木材を搬出した跡が残っている。その場所を利用して車を乗り入れ、不法投棄がなされたのである。投棄されたものは先述のものが大半だ。4トントラックで数台にも及ぶ量だ。これを回収してもらうためには、不法投棄されたものをすべて選別しておかなければ運んでくれない。他人が置いていったゴミを、人手を集めて何日も時間をかけて作業するようなそんな時間はないし、費用もない。自分さえ良けりゃそれでいい。人の迷惑なんてまったく気に留めない無神経な輩に腹が立つ。道徳も倫理観もあったものではない。

不法投棄物を発見したことを早速市役所に届け出た。生活環境課の職員は不法投棄の場所をノートに記録し、「ゴミ捨て禁止」の立て札を立ててくれと渡された。届出本人がその場所に立てに行かなければならない。係りの職員が確認のために後日その場所に赴くのなら、案内役として再度出掛けても厭わないつもりでいた。何たることか！ 善意を持って届けたのだが、通り一遍の処理で終わってしまった感が否めない。その後の結果の連絡がない。市には立派な『環境白書』がある。これも絵に描いた餅で、掛け声ばかりが大きく、もっと積極的な実践が欲しいものである。前途多難さを感じた次第。(役所を誹謗するつもりは毛頭ない。実行したかどうかは不明。2年後、市から緊急連絡があって次期世話役が現場に立ち会ったという。)

地元中野の偏見満足度(55) < 私リチャード・ギア、あなた草刈民代 > 【上鷲の葦】

高校は男子校、学部は法学部であったから、クラスメートで女の子は1人。これは、もともと厳しい環境といわねばなるまい。その上、シャイで自意識過剰、刑事コロポでもあるまいに1年中コードを着ているというおしゃれとは無縁の生活とくれば、お付き合い願う女友達がいないという暗い青春が十分想像できよう。

これではいかん。というわけで、中央線高円寺のガード下の、高円寺青年館へ行き、社交ダンス同好会へ入ったのは、卒業して社会人になり始めた頃であろうか。皆(まなじり)を決し、並々ならぬ決意のもとで向かったことであろう。ここで親しくなりかけた子もいたが、私のほうが山梨へ転勤してしまったのでダンスも中断とあいなった。

が、1年ちょっとで東京に戻ることにになり、久しぶりに同好会へ顔を出した。ダンスが終わった後、かの親しくなりかけた女の子に、「あなた、結婚するの」と、突然言われた。当方、一言もそのようなそぶりは見せなかったつもりであったが、顔に書いてあったのだろうか。女の勘の恐ろしさを教えられた。

その後は、ずーとテニスに嵌り、ダンスとは無縁の生活をしていたが、今から4年前、テニスをしていて肉離れをやってしまった。そのため、しばらく松葉杖生活であったので、社会復帰(いやテニス復帰)のためにまたぞろ社交ダンスを始めた。その間のことは、以下を参照されたい。

偏見満足度(4) < フィットネスクラブ >

<http://www.freeml.com/message/wntomon@freeml.com/000007>

偏見満足度(5) < カルチャースクール >

<http://www.freeml.com/message/wntomon@freeml.com/000009>

今回は、動機が、足慣らしという不純なため、このダンス教室通いも半年でやめてしまい、おかげで、社交ダンスの腕(いや足)は、相変わらず、初級者の域を出ない。

にもかかわらず、またしても懲りずに、この11月から社交ダンス教室へ行くことになった。

幸せに飽きたのか、はたまた、単調な毎日から抜け出すため途中下車したのか。

またまた社交ダンスを再開したのは、織田学園が「ODAダンス倶楽部」を始めたからである。(織田学園 3228-2111、社交ダンスは月3回、木曜日)今回もいつまで続くか分からない。リチャード・ギアのごとく大会へ出ると言い出すかもしれない。しかし、これ、私がいる間は、中野稲門会に「社交ダンス部」が出来たと同様である。

かつて、シャイで自意識過剰であった、君！中稲「社交ダンス部」へ入り給え。ご存知のように、織田学園は中央線から見える。ただし、草刈民代の踊っている姿は見えない。なぜなら、教室は、地下1階だからである。<http://www.shallwedance-movie.jp/#>

辛口コラム(1) < 小泉の走狗に墮したマスコミ > 【執筆者・Z】

小泉にヨイショする社説

読者の皆さんよ、全国紙の第3次小泉内閣改造人事に関する社説欄、コラム欄をご覧になったろうか。見出しだけ拾っても、みんなヨイショの羅列だ。

例えば読売社説(11/1 以下同じ)「内と外の『危機』に立ち向かえ」と表題は勇ましいが、内容を読むと「改革の速度を上げよ」と小泉改革礼賛で一杯だ。また、同紙コラムでも「改革のバトンを着実に」と書かせている。日経の社説も「小泉構造改革の総仕上げに全力尽くせ」とやり、政治部長の署名入りコラムで「改革なくして『次』はない」と、いわゆるポスト小泉の連中を鼓舞している。産経も同様で「財政再建の形を示せ」とこれまた改革の太鼓を叩いている。

つまり“小泉改革礼賛”のオンパレードなのだ。

そんなに改革が良いのか。キミらは、改革の行く末を見定めて、

このような社説やコラムを書いているのか？ キミらの編集局や論説室の窓からは、銀座や新宿の高層ビルやネオン街しか見えないうら、地方の中小都市や農村を見回ったことがあるのか。そこでどんなに貧しさが進行しているか、キミらは知っているか。キミらの貧困な脳みその想像力では、思い浮かぶこともできまい。商店街はシャッターを下ろしたまま、昼間だというのに人通りはない。郊外にスーパーがあるから良いだろうと、とキミら言う。確かにその通り。だが、それは大資本が儲けるだけだ。地元の経済に役立っていない。

アメリカ型貧富格差の拡大

キミら、ハリケーン「カトリーナ」でアメリカの貧困をあざ笑った。だが、貧富の格差拡大、このアメリカ型市場万能主義、レッセフェールの暴力的資本主義経済をグローバル化の名のもとに強行しようとしているのが、小泉・竹中構造改革ではないのか。郵政民営化を最も後押ししたのは、ブッシュ政権であったことは隠れもない事実だ。200兆円を越す郵貯、簡保資金をハゲタカ・ファンドが狙っているのはキミらも知っているはずだ。

実は、ここ数年、小泉改革で、わが国でも、アメリカ型格差拡大が進行し、貧富の格差、大都市と地方の格差、教育の格差、社員間の格差（評価制の導入など）が拡大している。

格差が拡大すれば、階層間の緊張・対立が深まり、社会不安、犯罪増加につながる。アメリカ社会を見れば、それが歴然とする。

批判を忘れたマスコミは狗(いぬ)だ

キミらは、小泉改革をヨシヨシするが、一体、批判を忘れてしまったのか？ 批判を忘れたマスコミは単なる狗、それもキバのない狗だ。小泉の走狗だ。走狗とは「獵犬が転じて、他人（または権力）の手先となって使われる人」（広辞苑より）とある。

もともとマスコミは、第4権力と言われている。立法・行政・司法の3権力に次ぐ権力だ。今や立法院（議会）は、野党民主党が「小泉改革にエールを送る」（前原民主党代表）という時代だ。行政府に至っては、今回の改造人事を見ても分かるとおり「イエスマン揃い」だ。小泉の暴走を止めるのは、第4権力だけだが、このていたらくは一体なんだ。

キミらは、アメリカのマスコミを知っているか。少なくともワシントン・ポスト、ニューヨーク・タイムズの良識的新聞は、絶えず時の政権に厳しい目を光らせ、批判に容赦しない。ベトナム戦争批判のNY・タイムズ、ウォーターゲート事件のW・ポストの記事を見れば明らかである。

日本のマスコミは、口では第4権力と言ってふんぞり返っているが、今や狗の地位に甘んじているに過ぎないではないか。

批判のネタ限りなくある

小泉政権に批判のタネはないとキミらは言うのか。

タネは探すまでもない。いくらでも転がっている。キミらが怠惰で拾わないだけだ。

例えば、今度の解散・総選挙、まさに憲法を無視し、憲政の常道に反する。これに筆誅を加えた新聞が一紙でもあったか。また、選挙

で小泉は「郵政民営化」一本に絞り、改革の幻想を振りまいた。だが、改革に伴う「痛み」については口を閉ざして巧妙に逃げ切った。ところが、選挙大勝を良いことに、選挙が終わるや、政府閣僚も自民党も一斉に増税を言いだした。これほどひどい「詐欺選挙」があるか？

有権者に「痛み」（増税）を押しつけるなら、選挙中になぜ言わなかったのか、少なくとも、マニフェストに書き込むべきではないのか。もし、増税を国民に押しつけたいなら、それを大義名分に、もう一度、解散・総選挙に訴えればよい。それが、憲政の常道と言うべきではないか？ キミら、そのことを社説やコラムで批判したことがあるか？

いや、批判どころか、擁護論もある。例えば日経社説「不況でなければ定率減税廃止やむなし」（10/30）だ。さらには、米軍再編に伴う沖縄基地問題、原子力空母の横須賀基地化、米国牛肉解禁などは、十分な国民論議のないままに、一方的に発表され、強行されつつある。

これに対して批判的論評を加えるのが、キミら第4権力の役割ではないのか。なぜ、沈黙を守っているのか。まさに小泉の狗に墮したためか？

今、唯一批判的論陣を張っているのは、キミらが嘲笑する大衆週刊誌だ。彼らは一般大衆の動向に素早いアンテナを働かせる。第4権力にふんぞり返っていると、キミらはやがて、大衆週刊誌の後塵を拝し、国民から見捨てられるだろう。

（『増さんの政治教室』 <http://www33.ocn.ne.jp/massan/> より抜粋）

ML 担当者からのご案内

上記「辛口コラム」を執筆いただいた増山榮太郎さんの渾身の書き下ろし新刊!!

『角栄伝説～番記者が見た光と影』出窓社

<オビから>戦後政治の結晶として、「総中流社会」をもたらし、ロッキード疑獄で追われ、悲憤のうちに逝った田中角栄。角栄政治とはなんだったのか？

混迷の現代に角栄あれば、と今も人気が高い稀代の政治家の栄光と挫折の生涯を、長年、番記者として身近に見続けてきた著者が問い直す。番記者ならではの秘話満載。渾身の書き下ろし。

*この秋、政治家・田中角栄の再評価が始まる！

今月のへえー(33) < プロバイダー、浮気したものの >

【Lagoon】

自宅 ADSL は 2002 年 2 月から YahooBB を利用してきていて、もろもろのプリンジベネフィット (MyYahoo メール帳 フォト、ブリーフケース) も愛用してきた。ただ、Yahoo に染まりきってしまうと硬直化し抜けられなくなる心配もあって、ちょうどキャンペーン (この手は結局いつでもやっているようなものだが...) のあった「KDDI メタルプラスネット DION ADSL50」...長い名前だこと、に先月切り替えた。

狙いは、KDDI の思う壺なのだが、NTT 基本料 1,785 円 / 月が

1,470 円に下がって、その分で Yahoo 下り最大 11Mbps だったのが最大 50Mbps になる というシナリオだった。NTT からの切換えそのものは何もしないで済み、Yahoo のモデム返送だけで簡単ではあったが、どうも通信速度は、ページアクセスがちょっと早くなったかな？という程度で、期待したほどではない。コンテンツ転送スピードを実測しても、普通の時間帯で 5.0 ~ 8.0Mbps ぐらいなので、ADSL である限りは、電話局からの距離で減衰が決まってしまうようだ。

YahooBB 会員を外れても、一般利用者として周辺サービスを継続使用(ただし、無料メール・アカウントには CM バナーが入るようになったけど)していて、やはり Yahoo のマーケティングからはなかなか外れにくい。どうも、古女房のほうがサービスがよく、**新手ギャル KDDI はあまりお勧めではなかったようだ。アチチ!!**

事務局からお知らせ

知技研 11 月例会

テーマ：最近読んだ本、創作四文字遊び

11 月 25 日(金)、中野駅サンモールよこ魚民、入交幹事 akirairi@nifty.com
部会員外のご参加も歓迎

会報『さざんかの道』25 号は、会報部会員による編集作業が鋭意進められています。

12 月 17 日(土)発行を予定しており、同日に役員・幹事が集まり発送作業を行います。

恒例の忘年会は、新年会として開催致します。

2006.1.21(土)17:00 ~ (中野サンプラザ)をお楽しみにご予定ください。【開催日程訂正済み】

箱根駅伝必勝激励会「渡辺康幸監督を男にする会」が早稲田大学駅伝サポート倶楽部(ウエスクラブ)と同会共催で開催されます。どうぞご参加ください。

12 月 25 日 17:00 ~ 箱根駅伝対談

18:20 ~ 渡辺康幸監督を励ます会

会場：早大小野記念講堂とガーデンハウス
参加費：5000 円

キャンパスにおける主な催し

<http://www.waseda.jp/jp/event/index.html>

公開講演会〔大使講座〕「ヨーロッパの構築、フランスの外交政策と日本」

ベルナール・フォーブルネ・ド・モンフェラン閣下(フランス共和国特命全権大使)

【日時】11/21(月)13:00-14:30

【会場】早稲田大学小野記念講堂

【対象】学生・教職員・一般

【参加方法】入場無料・予約不要・直接会場へ

【問合せ】オープン教育センター Tel:03-3204-8982

日本・ASEAN CIO 講演会 電子政府の取組みと課題 ~ 国際連携の推進を目指して ~

【日時】11/21(月)13:00-17:20

【会場】大隈会館 3F

【対象】学生・教職員・一般

【参加方法】入場無料

【問合せ】大学院国際情報通信研究科

http://www.gits.waseda.ac.jp/GITS/index_jp.php?ID=00&href=news/jp_news04.html

産業経営研究所 第 30 回公開講座

(1)「逆転の競争戦略」山田英夫氏(アジア太平洋研究科教授)

(2)「夢をカタチに 起業能力と事業計画」
松田修一氏(アジア太平洋研究科教授)

(3)「新規事業はなぜ成功しないのか(仮説のマネジメント)」
大江 健氏(アジア太平洋研究科教授)

(4)「ベンチャー企業成功のポイント」柳 孝一氏(アジア太平洋研究科教授)

【日時】(1)11/21(月)14:40-16:10

(2)11/21(月)16:20-17:50

(3)11/22(火)14:40-16:10

(4)11/22(火)16:20-17:50

【会場】西早稲田キャンパス 9 号館商学部大会議室(法商研究棟 5 階西側)

【対象】学生・教職員・一般

【参加方法】入場無料、予約不要、直接会場へ

【問合せ】産業経営研究所

講演会「マイノリティと民法」

大村敦志氏(東京大学法学部教授)

【日時】11/24(木)18:00-20:00

【会場】早稲田大学小野記念講堂

【対象】学生・教職員・一般

【参加方法】直接会場へ

【問合せ】比較法研究所

講演会「難民法クリニックの課題と展望：アメリカの経験から」
ポール・グルッセンンドルフ氏(国連難民高等弁務官事務所) 通訳あり

【日時】11/26(土)13:00-18:00

【会場】西早稲田キャンパス 8 号館 310 号教室

【対象】学生・教職員・一般

【参加方法】直接会場へ

【問合せ】法務研究科、比較法研究所、臨床法学教育研究所、国連難民高等弁務官事務所

講演会「サルトルとアクチュアリテ 資本・暴力・主体」
萱野稔人氏（東京大学大学院総合文化研究科
21世紀COE「共生のための国際哲学交流センター」研究員）、
三宅芳夫氏（千葉大学法経学部助教授）

【日時】11/26（土）14:00-18:30

【会場】戸山キャンパス 36号館 681教室

【対象】学生・一般

【参加方法】直接会場へ

【問合せ】早稲田大学文学部フランス文学専修

国際シンポジウム「アジア地域文化の構築 III」

【日時】11/26（土）10:00-18:00

11/27（日）10:00-16:30

【会場】早稲田大学国際会議場

【対象】学生・教職員・一般

【参加方法】入場無料、予約不要、直接会場へ

【問合せ】21世紀COEプログラム「アジア地域文化エンハンシン
グ研究センター」

<http://www.enhan.waseda.ac.jp/event/sympo/sympo2005/index.html>

裁判員制度模擬裁判

【日時】11/27（日）13:30-18:00（開場 13:00）

【会場】第一会場：早稲田大学小野記念講堂

第二会場：西早稲田キャンパス 8号館 106教室

【対象】学生・教職員・一般

【参加方法】第一会場（模擬法廷）への参加希望の場合、要事前
申込。

詳細は専用HPをご覧ください。

【問合せ】早稲田大学大学院法務研究科裁判員制度模擬裁判実行
委員会、

早稲田大学周辺商店連合会、

大学院法務研究科、早稲田大学臨床法学教育研究所

<http://www.waseda.jp/law->

[school/topics/mogisaiban/20051027.htm](http://www.waseda.jp/law-school/topics/mogisaiban/20051027.htm)

講演会「風景を旅する」

長田弘氏（詩人）

【日時】11/28（月）18:00-19:30

【会場】戸山キャンパス 38号館 2階 AV教室

【対象】学生・教職員・一般

【参加方法】直接会場へ

【問合せ】早稲田大学比較文学研究室

奥・井ノ上 2nd メモリアルフォーラム「日本の外交戦略」

【日時】11/28（月）14:40-17:30

【会場】早稲田大学国際会議場 井深大記念ホール

【対象】学生・教職員・一般

【参加方法】参加無料・事前申込不要・一般聴講歓迎

【問合せ】オープン教育センター Tel:03-3204-9196

[http://www.waseda.jp/open/index/news/20051128_oku-](http://www.waseda.jp/open/index/news/20051128_oku-inoue_2ndforum.html)
[inoue_2ndforum.html](http://www.waseda.jp/open/index/news/20051128_oku-inoue_2ndforum.html)

公開講演会〔大使講座〕「Japanese Egyptian Friendship」
ヒシャーム・ムハンマド・ムスタファ・バドル閣下
（エジプト・アラブ共和国特命全権大使）

【日時】11/30（水）13:00-14:30

【会場】早稲田大学小野記念講堂

【対象】学生・教職員・一般

【参加方法】入場無料・予約不要・直接会場へ

【問合せ】オープン教育センター Tel:03-3204-8982

<http://www.waseda.jp/open/attention/taishi.html>

ML管理にん【Lagoon】

【本号送信数 60】

今号から【執筆者・Z】こと増山榮太郎さんによる《辛口コラム》が
始まりました。今年 3 月には『シルクロードお遍路の旅』
http://www.demadosha.co.jp/catarogupage_242.html
も上梓されるなど大活躍中の同氏の歯に衣をきせぬコラムをご期
待ください。

受信メールアドレス変更については、以下ページを開き、旧アド
レスで[退会](削除)してから、新アドレスにて[参加]をクリックして
ください。

中野稲門会 > 稲門会サイトの案内

<http://wnakano.moo.jp/guide.html>

題自由（趣味のこと、この頃気になること、自己紹介、求む情報
...）の投稿を次のアドレスまでお寄せください
wnakano@cs.moo.jp 次号は 12 月 20 日配信予定（前日締切り）

皆さんから会員へのお知らせ・案内など、中野稲門会ホームペ
ージの掲示板を気軽にご活用ください。
<http://wnakano.moo.jp/>

Web 会報バックナンバーは次の URL から

[http://www.freeml.com/ctrl/html/MessageListForm/wntom](http://www.freeml.com/ctrl/html/MessageListForm/wntomon@freeml.com)
[on@freeml.com](http://www.freeml.com/ctrl/html/MessageListForm/wntomon@freeml.com)